

【現在の景況感】

「景気が悪い時は（企業が売上を増やすために）新商品やモデルチェンジなどの取組を行うことから、現在は好況である」（一般機械器具）

「相次ぐリコールや排ガス不正問題で自動車業界が全体的に委縮している」（輸送用機械器具）

「日本の家電メーカーのヒット商品はなく、8～9割の企業の業況は良くないのではないかと」（電気機械器具）

「今の環境に慣れてしまっており、これが普通という感覚になっている」（金属製品）

「外国人観光客の急増で宿泊施設関係製品が非常に伸びている。オリンピックより先に特需が来ている」（プラスチック製品）

「食品という比較的単価が低く必要な物への消費者のお金の使い方に変化はない」（食料品製造業）

「例年秋は受注が伸びているのに今年は伸びない」（鋳鉄鋳物）

「主力品である衣料品が低調で大変厳しい」（百貨店）

「実際の利益はマイナスだが、競争環境の割には悪くない状態」（スーパー）

【売上・採算】

「昨年対比では受注高はプラスで推移している」（一般機械器具）

「中国、オーストラリアといった資源国の建設機械等の需要が落ちて売上げ減少、東南アジアの自動車需要も低調なまま」（輸送用機械器具）

「売上げは前年比でほとんど変わらない、受注機会はあっても人手不足で生産が対応できず機会を損失している」（電気機械器具）

「売上げは増えているが原材料高騰により利益率は下がっている」（食料品製造業）

「例年数が売れていたものは輸入品が多かった。今年は円安の影響であまり数が出ていない」（スーパー）

「昨年の同時期に比べて2割程度の増収で来ている」（建設業）

【今後の見通し】

「メーカー各社とも下請けの確保に動いている。その流れに乗れば、良い方向に向かうと思う」（一般機械器具）

「電機や建築の大手企業の不祥事は製造業全体に響いてくると思う、景気の一寸先はグレー」（電気機械器具）

「中国の成長鈍化などの外部環境の変化が心配」（金属製品）

「今後の生産が見通せるようになった」（プラスチック）

「人口減少、高齢化で市場が縮小。消費税が10%になったら消費が冷えてしまう」（食料品製造業）

「今後の景況は微妙だが、市場に動きは出ており、動いている相手をいかに捕まえられるかがカギ」（印刷業）

「店主の高齢化が進み、売上げを伸ばす努力や購買意欲をそそる商品への投資ができない。先細り感がある」（商店街）

「人手不足の状態が変わらない限り、何とも言えない」（情報サービス）

「工事全体が増えているわけではなく、先は見えずらい」（建設業）